

咲洲コスモスクエア地区  
ペDESTリアンデッキ整備事業  
実施状況説明資料

令和元年9月  
港湾局

## ◆ペDESTリアンデッキ整備事業の現状

- 咲洲コスモスクエア地区を始めとする本市の臨海部については、これまでテクノポート大阪計画などに基づき、まちづくりを進め、その結果、一定の都市機能の集積が図られてきたところであるが、依然として多くの未利用地が存在するとともに、歩行者動線と物流動線との輻輳という課題が顕在化してきている状況にある。
- ペDESTリアンデッキは歩車分離による歩行者の安全性の確保と、回遊性を確保するための施設であり、整備計画ルート上において、民間所有地での開発計画の具体化に合わせて、本市も整備することとしている。
- 西ルートのコスモ国際フェリー線横断部、咲洲運河横断部、コスモ中央線横断部のペDESTリアンデッキについては、整備計画ルート上において、民間所有地での開発計画が具体化されていないため、当初の整備計画時期より遅延が生じている。

## ◆ニーズの動向

- 咲洲コスモスクエア地区においては、事業開始以前よりトレーラー等の物流動線と歩行者動線が輻輳している箇所があり、歩行者の安全性、快適性などの環境改善を実現することが、現時点においても望まれている。

## ◆事業手法及び事業の流れ

- 咲洲コスモスクエア地区においては、良好な都市環境の形成とその環境の保全を図ることを目的に、「コスモスクエア地区まちづくり要綱」を制定しており、ペDESTリアンデッキ整備計画ルート上の土地所有者に対して、開発時には、歩行者の利便性向上と安全性確保のため、歩行者の動線上必要な位置に回遊性のあるペDESTリアンデッキを整備することを求めており、民間開発の具体化に合わせて、本事業に着手する。

## ◆財源等

- 港営事業会計（大阪港埋立事業）

## ◆局運営方針に照らした事業の位置づけ

- 局運営方針では、重点的に取り組む主な経営課題として、「港の国際競争力の強化」「災害に強く、安全で使いやすい港の実現」「臨海地域の活性化」の3つを掲げ、臨海地域の活性化に向けて、土地利用促進に向けた都市基盤整備を行っていくこととしている。
- 本事業は咲洲コスモスクエア地区における歩行者の安全性及び回遊性を確保し、歩行者の環境改善やまちの魅力向上が図られるものであることから、臨海地域の活性化のために必要な事業である。

# 事業費の推移

市の財政状況が厳しくなり、港営事業会計についても事業費の縮減傾向が続いている。

咲洲コスモスクエア地区ペDESTリアンデッキ整備事業を実施している大阪港埋立事業についても、平成12年度から大幅に事業縮減している。

港湾局（港営事業会計）決算の推移（億円）

